タルイピアセンターへ行こう!

# としょかんへ行こう!

**垂井町は「家読(うちどく)」を推進しています**

問 タルイピアセンター　☎23-3746　FAX 23-3745
開館時間：午前10時～午後６時(学習室は午後５時まで)
休館日：12/7(月)、14(月)、21(月)
年末年始の休館日：12/28(月) ～ 1/4(月)

電子書籍を読みたい人は
県図書館に申請しましょう

**【今月号の新刊】**




**クリスマスツリーがやってきた**

ロバート・バリー、
ふしみみさを訳、大日本図書

明日はクリスマス。でも、ウィロビーさんは、クリスマスツリーが届かなくてがっかりです。それを見ていたくまのバーナビーが、すばらしいことを思いつき…。心温まるクリスマス絵本。「おおきいツリーちいさいツリー」の続編。




**ぼくたちは異常気象の世界をどう生きるか**

立花義裕、旬報社

毎年のように起きる豪雨災害、予測不能な大型台風、交通をマヒさせる豪雪…。地球「沸騰化」を止めるにはどうしたらよいのか。異常気象研究の第一人者が、異常気象のメカニズムと気象研究の面白さ・奥深さを伝える。




**生き物は「歯」がおもしろい**

ビル・シャット、
西尾義人訳、青土社

理容室のカミソリのようなチスイコウモリの小臼歯、せっかく生えても大人になると失われるカモノハシの歯、いまやトラブルメーカーの人類の「親知らず」…。動物学者が、生き物の「歯」の歴史を噛みしめるノンフィクション。




**獣走**

安堂ホセ
KADOKAWA

ごく普通の会社員である高木サニーは、四足で行う6人組のスポーツ「獣走」の存在を聞かされ、まだルールも固まっていないその競技に参加することに。仲間内だけで楽しんでいたが、知名度が一気に上がってしまい…。

紹介文：TRC MARC

**お知らせ**

▶テーマ展示　「ハレの日、ケの日」「しゃしんのえほん」
▶絵本のよみきかせ会　.,毎週土曜日　午後２時から
▶12/15(火) ～ 12/27(日) 限定　貸出冊数20冊、貸出期間は３週間です。
▶図書館利用の際には、マイバッグをお持ちください。

**利用の記録**

| | | |
|---|---|---|
| R8.10月 | 開館日数 | 26日 |
| | 入館者数 | 6,024人 |
| | 貸出冊数 | 12,288冊 |

# 歴史探訪

## その後の竹中家

天正七年(一五七九)六月一三日、竹中半兵衛は播磨三木城攻めの陣中で病没しますが、息子の重門はまだ七歳と幼く、半兵衛の弟久作と半兵衛のいとこで長松城主の重利が重門を後見しました。

久作は、姉川の合戦では敵方の有力武将を討ち取るほどの豪の者でしたが、天正一〇年(一五八二)六月二日、本能寺の変で織田信長が殺されると、久作は、変の余波で起きた騒動に巻き込まれ、表佐で討ち死にしてしまいました。

一方、重利は、豊臣秀吉のもとで活躍し、朝鮮出兵での功績を認められ、豊後国内(大分県)で領地をもらい、九州に移っていきました。

重門は、天正一六年(一五八八)従五位下丹後守に昇進し、翌年、美濃国岩手の領主として五千石の領地を認められました。慶長五年(一六〇〇)の関ケ原合戦でも東軍陣営に所属して岩手の領地を守り抜き、竹中家は幕末にいたるまで幕府の旗本として続きました。


▲竹中氏陣屋跡

**『垂井町史』通史編・史料編**
タルイピアセンター、役場会計窓口、文化会館で販売中　各4,000円